

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成25年 7月 31日
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都港区港南1-9-1 品川TWINSAネックスビル		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 代表取締役社長 海野 忍
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称		NTTコムウェア EIS環境マニュアル
適 用 範 囲		エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 本社ビル NTT幕張ビル、NTTコムウェア五反田ビル、品川シーサイドサウスタ ワー、品川東急ビル、品川シーサイドパークタワー、五反田藤倉ビル、 日立ソリューションズタワーB
導 入 年 月 日		2002/6/27
認 証 番 号		JUSE-EG-039
基 本 方 針		豊かな情報流通を創造するNTTコムウェアは、ビジネスインフラとして最先端のITで ビジネスを革新するネットワークを活用した情報通信システムの戦略立案、企画、設 計・構築、運用・保守の総合的なサービスやソリューションをNTTコムウェアグループの 総力を結集して提供していきます。 その事業活動の中核となるIT利用であらゆる企業活動を効率化することにより、環境負 荷の低減効果・省エネといった環境保護に資する反面、企業の事業活動の環境問題に密 接に関わっていることを深く認識し、健全な自然環境を次世代に引き継ぐ維持可能な発 展を実現するために、事業活動のあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための 目標(以下「目標」という。)		1. OA用紙の原材料としての森林資源を保全する。・・・2013年度の全社OA 用紙購入を9000箱以下にする。(2012年度比5%削減) 2. 地球温暖化防止のため、温室効果ガス(起源エネルギー)排出量を低減す る。・・・オフィスビルにおいては2013年度は2012年度比1%削減 3. 廃棄物の排出抑制を行うために、リサイクル向上の取り組みを実施す る。・・・オフィス廃棄物にリサイクル率を2013年度までに2010年度実績を維持 する。
目標を達成するための取組の内容		1. OA用紙削減 ①各実行組織での施策実施 ②事務局での施策実施 ・各種打出し資料等のペーパーレス 2. 温室効果ガス排出量の低減 ①各実行組織による施策で2010年度比1%削減 ②事務局での施策実施 ・照明機器、OA機器等の節電 3. 廃棄物のリサイクル向上 ①各実行組織での施策実施 ②事務局での施策実施 ・廃棄物排出量の把握及び分析 ・機密文書の循環型リサイクルの確立等 ・オフィス廃棄物のリサイクル向上
目標を達成するための取組の進捗状況		1. OA用紙削減・・・第1四半期においては、各実行組織での施策実施及び事務局で は、施策実施に向けて、現状把握中です。 2. 温室効果ガス排出量の低減・・・第1四半期においては、各実行組織での施策実施及 び事務局では省エネ施策を継続中です。また、東日本大震災に伴う、節電施策を3 月～現在まで継続で実施中です。 3. 廃棄物のリサイクル向上・・・各実行組織での施策実施及び事務局では施策を継続 実施中です。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対 する評価		1. OA用紙削減、温室効果ガス排出量、廃棄物のリサイクル向上については、 各実行組織・事務局とも当初計画どおりに取組みができています。 2. 温室効果ガス排出量の削減は各実行組織・事務局とも当初計画どおりに取 組みができています。なお、東日本大震災に伴い夏季節電対策を実施している ためにオフィスビルは、電気使用量の削減ができています。 3. 廃棄物のリサイクル向上については各実行組織・事務局とも当初計画どお りに取組みができています。
事業活動に係る法令の遵守の状況		関連法規の遵守状況については、1回/四半期確認を行っています。現在まで、 違反及び行政等からの指摘はありません
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		評価・見直しについては、各実行組織・事務局は四半期に1回分析・評価していま す。その結果を踏まえ、基本的には事務局が目的・目標の見直し検討を行いま す。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。